

JA兵庫西産タマネギ・ジャガイモを周年販売

JA兵庫西は、年間を通じて需要のあるタマネギやジャガイモの生産量を増やし、農家所得の向上と、周年販売による直売所の店舗活性化に努めています。

生産量増大に向け、当JAでは収穫用などの大型機械を導入して生産者の作業を支援。また、収穫後は低温倉庫で貯蔵し、年間を通じて安定した供給を図っています。今年、タマネギは約16ヘクタール、ジャガイモは約3ヘクタールを作付け、それぞれ5～7月に収穫。春から好天に恵まれたので、品質・収穫量ともに申し分ありません。「旬彩蔵」「野菜市」では8月から販売を開始していますので、ぜひ地元産のタマネギやジャガイモをご賞味ください。

今後も、学校給食への提供やスーパーなど量販店への販路拡大を通じてJA兵庫西の農産物をPRし、さらなる農業者の所得増大と農業生産の拡大を図り、地産地消の推進に取り組みます。



営農相談フリーダイヤルサービス終了のお知らせ

長きにわたりご愛顧いただきました、営農相談のフリーダイヤルサービス(0120-831-092)は、令和元年9月30日(月)をもって終了いたします。

組合員・利用者の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、今後、営農相談については、お近くの営農生活センターへご相談いただきますよう、お願い申し上げます。

農作業ひとくちメモ

台風や豪雨の備えと対策

台風や豪雨など、自然災害に気をつけたいシーズンです。台風などの接近が分かったら、苗は室内に避難させ、道具などが飛ばされたり流されたりしないように片づけておきましょう。

事後対策として、まずは畑を見回り、畑表面や溝にたまった雨水を排水しましょう。強い風雨にさらされた野菜は、噴霧器などを使って下葉の裏まで全体を丁寧に洗い流します。倒伏したものは土寄せをして起こし、傷口から病気の侵入を防ぐため、主要病害に効く薬剤を散布します。いずれの場合も、まずは安全の確保が第一です。雨風が強いときや夜間の作業は控えましょう。

